

7月21日

テーマ：「正しい人は信仰によって生きる」

聖書箇所：ハバクク2章4節

◆今日のみことば

見よ。彼の心はうぬぼれていて、まっすぐでない。しかし、正しい人はその信仰によって生きる。  
ハバクク2章4節

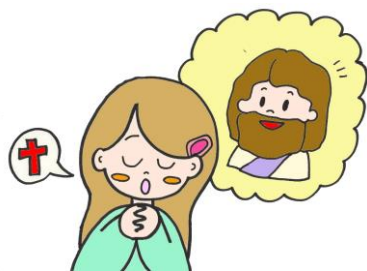
◆メッセージ

いつでも、どんなときでも神さまに信頼して歩みましょう。間違ったことでも平気でやったり、うそをつく人もいます。それは、神さまを知ることと恐れることもないからです。うぬぼれている人は自分が神になっているからです。そのような人は、他の人に親切にしたり、助けてあげようとは思いません。

私たちはイエスさまを信じて、神さまの子どもにさせていただきました。それは良いことをたくさんしたからではありません。悪いことを一つもしたことがないからでもありません。そんなことは不可能です。ただイエス・キリストが私たちの罪の身代わりになって、十字架にかかって死んでくださったこと。そして、三日目によみがえられたことを信じたからです。

神さまの子どもにさせていただいた人は、神さまにも他の人にも正しく誠実に生きようとし、他の人をだましたり、裏切ったりしません。かえって、親切にしたいと考えています。神さまはそのような人たちを助けて、良い働きに用いてくださいます。

預言者ハバククさんによって語られた神さまのことばは、カルデヤ人に苦しめられていたユダの人々に告げられました。「あなたがたを苦しめている者たちは、その悪のためにいつか滅ぼされる。だから、あなたがたは神を信じていれば必ず助けられる」という約束です。



あなたのまわりに、あなたをいじめたり困らせたりする人はいませんか。もしいたとしても、悪い心をもってやり返したりする前に、神さまに祈りましょう。神さまがいちばんよいようにしてくださいます。それを信じて待ちましょう。そして悪い誘いに負けないで、間違ったことをすることなく、いつでも神さまを信じている人として生きていけば、倒れることなく歩んでいけます。

もしも自分が間違っていたことに気づいたら、素直に神さまにあやまりましょう。必ず赦していただけます。そして、いつか来る終わりの日にも備えましょう。そのときが来たら悪いものはすべてなくなりますから。

◆お祈り

「いつでもどんなときにも、神さまを信じて離れることがありませんように。そして悪いものに負けることがないように祈らせてください。」

(世田谷中央教会牧師 安藤能成)